

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援BAMBOOHAT KIDS深谷駅前教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日 ～ 2024年 12月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日 ～ 2024年 12月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様からの満足度が高い。 お子様の課題やご家族の要望に沿った児童発達支援計画が作成され、それに基づき支援を行っている。	お子様、ご家族のご要望や課題について、送迎時やモニタリング時の他、連絡帳やお電話等も使用してできる限り詳細にお話を伺い、情報を共有し、お子様一人ひとりに合わせた支援計画を立て実施したり、ご家庭での関わり方についてのご相談、ご提案を行ったりしています。	今後も送迎時や連絡帳でのやり取りなどでお子様の様子や保護者様からのご相談、ご要望をお伺いし、日々の支援に取り入れていきます。また、保護者様からのご相談、ご要望に対し、できる限り早急にお応えしていくことで、さらにご満足していただけるように取り組んでいきます。
2	利用時間の半分程度の時間、個別トレーニングを実施している。 特に発語トレーニングに力を入れていて、マンツーマン以上の体制で行っている。	個別トレーニングの時間をお子様一人当たり1時間程度確保し、集団生活やコミュニケーションスキルの基盤作りのためのプログラムを計画し実施しています。 お子様の現状について詳細なアセスメントを行い、発語プログラムに沿った段階的な支援を行っています。 ご家庭でも取り組んでいただけるよう、保護者様に実際の支援の見学、参加をお願いし支援方法についてお伝えしています。	保護者様との情報共有はもちろんですが、通園先との連携も図りながら、より日常生活に密着した内容でお子様一人ひとりに合わせた計画を立て、支援プログラムを実施していきます。 ご家庭での取り組みが継続できるよう、定期的に支援を見学したり参加できたりする体制を整えていきます。
3	個別トレーニングでの経験を集団活動ですぐにいかせる環境。	利用時間の使い方はお子様の課題や目標によってカスタマイズしており、個別と集団の時間配分や一緒に活動する人数なども変えています。集団活動時に必要となるスキルについて、個別での取り組みのほか、2、3人のお友達と一緒に、あるいは数人の指導員と一緒に取り組むといった、集団活動の一手手前の環境を作り支援することもあります。そのような取り組みの後に、さらに人数の多い集団での活動に取り組むことで成功経験を積み重ねやすくしています。	引き続き、お子様の課題や目標によりスケジュールを組み、個別で練習したことをすぐに実践できる活動の流れやプログラムを構築し支援を行っています。個別トレーニングでのお子さんの状況を知っているからこそ、集団活動における適切な手助けなど、より細やかな支援を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様へのペアレントトレーニングが十分に行われていない（定期的ではない、全利用者にいきわたっていない）。 また、保護者様同士の交流が十分ではない。	保護者様へのペアレントトレーニングや保護者様同士の交流機会の提供について、ペアレントトレーニングは必要時のみ、交流機会は法人全体でのイベント実施時のみとなっており、定期的に行う仕組みが作られていなかった。	ペアレントトレーニングについては、ご利用者様全員が定期的に受けられる仕組みを作り実行しています。また、ご家族同士が情報交換できる場の提供、会の企画等を行うことで、より良い支援体制を築いていきたいと考えております。
2	ブログ発信がコンスタントに行えていない。 SNSやブログ、ニュースレターでの発信内容が周知されていない。	事業所でのイベントや定期的な訓練等の実施後、すぐに実施をお知らせできるツールであるブログ作成について、自主性に任せているところがあった。毎月発行のニュースレターやブログを通じて事業所の取り組みをお知らせしているが、保護者様やご利用を検討されている方とのやり取りの中で内容が伝わっていないことがあり、結果発信についての周知が不足していると考え。	ブログの発信について、イベント等の直後に情報発信が行えるようにいたします。また、保護者様に対しては連絡帳アプリ等を活用し、日ごろの様子について発信されていることをお伝えしていきます。これからご利用を検討されている方へも役に立てるような情報の発信を行います。
3	支援に関する振り返りやプログラムの見直し、改善、全スタッフへの情報共有が不足している部分がある。	個人で支援を振り返り、次回の支援や取り組みについて検討し方針をたてることはできていても、全スタッフと共有することができず、支援内容が滞っていることがある。お子さんの課題に対する優先順位がつけられていないことがある。	お子さんの一番の課題や目標を明確にし、それを達成するための計画や方法を、いつだれが見てもわかるシートに作成し、全スタッフで共有できるようにし、共通した認識のもとで支援を実施できるようにしていきます。